

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	比較居住文化小委員会	主 査 名：内海佐和子 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：菊地成朋 主 査 名：定行まり子
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	人・物・情報が世界規模で行きかう現在、それらの要因に影響を受け、居住の質も劇的に変化している。こういった状況のもと、フィールドワークによる居住文化の研究および、それをもとにした多様な展開を推進し、建築学の発展に寄与する。各年度とも以下の活動を行う。 1. 地域に根ざした計画手法の集積および、その比較研究 2. フィールドワークによる居住文化研究に関する情報の発信 3. フィールドワーク対象事例の見学会、研究会の開催 4. フィールドワークを主体とした研究を行ってきた研究者による、研究の視点および方法論を紹介する書籍の刊行準備 5. 上記目的にそった拡大小委員会および公開研究会の開催	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 内海佐和子 (昭和女子大学)、上北恭史 (筑波大学)、濱 定史 (東京理科大学)、稲垣淳哉 (早稲田大学)、井上えり子 (京都女子大学)、岡田知子 (西日本工業大学)、栗原伸治 (日本大学)、清水郁郎 (芝浦工業大学)、田上健一 (九州大学)、橋本憲一郎 (東京大学)、平田智隆 (芝浦工業大学)、本間健太郎 (東京大学)、前田昌弘 (京都大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	1. 情報発信 WG：当小委員会のウェブサイトの立ち上げのための企画・制作を主導する。サイト立ち上げ後は運営管理も担う (年 4 回)。 2. 出版 WG：フィールドワークを主体とした研究を行ってきた研究者による、研究の視点および方法論を紹介する書籍の刊行準備を行う (年 4 回)。	
2012 年度予算	185,000 円	ホームページ公開の有無：無 (準備中) 委員会 HP アドレス：無 (準備中)

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 拡大研究会の開催を通し、研究事例の集積、研究者相互の交流がなされた。また、この研究会によって、現在、当委員会において企画している書籍に対する有益な足がかりを得ることができた。 2. 出版 WG 主導により、書籍の刊行準備に着手し、刊行までのタイムスケジュールを組むことができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 当委員会の活動を公開する web サイトの構成はほぼ固まったものの、その後中断しており、いまだ公開に至っていない。準備を進めるため、本件を担当する情報発信 WG の委員構成の見直しを図るなど、早急な公開を目指したい。